

広島県中小企業団体中央会 2020年2月分情報連絡一覧表

※本調査は3月の見通しについても調査をしている関係上、新型コロナウイルスの世界的感染拡大に対する3月以降のコメントも掲載しています。

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

2月の出荷量は前月比5.3%減少、前年同月比22.3%減少となり、売上高は前月比5.1%減少、前年同月比19.5%減少となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

先月下旬から受注が増加し、今月は好況であった。要因としては、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、外出を控え、家で過ごすことが増えたことにより菓子需要が増加したのではないかと推測している。

スーパーやドラッグストアは好況で、土産品関係は絶不調のようである。

地方発送のある企業は運賃負担の多さに疲弊している。個々の事業所においては、事業所ごとの好不況の格差が大きいように感じる。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・令和2年1月の全国の住宅着工戸数は60,341戸で前年同月比10.1%減少
- ・季節調整済年率換算値では81.3万戸(前月比4.6%減少)
- ・利用関係別では、持家は18,037戸で前年同月比13.8%減少、貸家は24,147戸で前年同月比2.5%減少
- ・分譲住宅は17,856戸で前年同月比14.6%減少
- ・木造住宅着工は33,849戸で前年同月比11.2%減少
- ・住宅着工の動向については、前年同月比は7ヵ月連続で減少
- ・とりわけ持家は、1965年1月以来55年ぶりの2万戸割れとなった

<広島>

- ・広島県内の1月の着工戸数は1,044戸で前年比14.5%減少、このうち持家は353戸で同9.0%減少、貸家は422戸で同2.3%減少、分譲は267戸で同33.4%減少
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比3ヵ月連続の減少となった
- ・地域別では広島市が着工戸数315戸で前年同月比52.0%減少、福山市が212戸で同14.9%減少、廿日市市は31戸で同59.7%減少の一方、呉市は114戸で同311.4%増加、東広島市は96戸で同6.7%増加と地域間、業者間で景況感に差が見られ、年末まで受注環境が安定していたプレカット工場の稼働も受注減少で鈍化し、先行き不透明感が強まり、住宅着工戸数減少の影響や供給過多による住宅市場の飽和感、新型コロナウイルス感染拡大への警戒感など様々な不安要素を訴える声が増えている。人材不足・配送コスト高による採算悪化のほか、新型コロナウイルス感染拡大による輸出梱包材の需要減少や、中国からの原料仕入への影響なども懸念される中、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

広島県北部国産材加工協同組合

新型コロナウイルスの感染拡大により世界景気の下振れ要因となっている。

あらゆる分野で商品・物流のサプライチェーンが分断され、混乱が生じている。

雪の支障がない中で山の現場作業が進み、本来であれば例年以上に丸太が出てくるはずであるが、段取り等の都合もあり、スケジュールの前倒しは難しく、出材は伸び悩んでいる。

福山木材協同組合

今月の売上は減少したが、なんとか持ちこたえた感はある。しかし、今後新型コロナウイルスの影響により、来月からは益々悪化することが予想され、今後の見通しが立たない。

(印刷)

●出版・印刷・関連

広島県印刷工業組合

今月、紙需要の落ち込みにより、地場の印刷材料卸商1社が自己破産した。

新型コロナウイルスの悪影響がどこまで広がっていくのか不安である。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

世界的に流行している新型コロナウイルスによる影響は、インバウンド、サプライチェーン等広範囲に深刻な景気後退をもたらしている。未だ終息の時期が見通せず、今後多くの倒産が発生する可能性が高い。早く感染拡大が止まり、自粛ムードが治まり、個人消費が回復することを願う。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

新型コロナウイルスの影響で、業界全体で売上・設備操業度ともに減少している。今後さらに影響が拡大することを危惧している。

問題は、終息開始時期が見えないことである。

各社資金繰りへの影響が懸念される。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

2年 2月 3,228m³ (前年比16.49%増加)

2年 1月 2,850m³

31年 2月 2,771m³

(一般機器)

●一般機械器具

出島工業会協同組合

消費税率引き上げ後の反動減の影響が未だに続いている。

組合員企業の動向については、特に大きな動きはない。売上高は若干減少傾向である。当組合の課題としては、役員の高齢化と世代交代である。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、フル操業が継続しており、出荷のタイミングにより前月比110.5%増加、前年同月比10.3%増加となった。

国内外とも厳しい受注環境が継続している。新型コロナウイルスの影響により、中国等への納品や新規受注が停止している状況である。

海外出張を原則中止する企業がほとんどである。

(電気機器)

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は、受注量が減少しており、前月比変化なし、前年同月比7.0%減少となった。

前年同月比減少の主要因は、輸出の減少と装置向け（特定機種）の低迷である。

新型コロナウイルスの影響で受注が低迷している。影響がどこまで続くのか、読めないことが不安材料となっている。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の業況（生産台数）に比例している。

- ・2月の国内自動車販売台数は全需が430千台、前年同月比10.3%減少と5ヶ月連続の前年割れ。登録車は前年同月比10.7%減少と5ヶ月連続の前年割れ、軽自動車は前年同月比で9.6%減少と5ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同10.6%減少と2ヶ月連続の前年割れ

- ・アメリカの1月の全需は1,144千台で前年同月比1.0%増加と3ヶ月振りの前年超え。マツダ車は同17.8%増加と4ヶ月連続の前年超え

- ・欧州の1月の全需は1,261千台で、前年同月比6.3%減少と5ヶ月振りの前年割れ。マツダ車も同26.2%減少と5ヶ月振りの前年割れ

- ・中国の1月の全需は2,277千台で、前年同月比3.9%減少。マツダ車も同8.2%減少と3ヶ月振りの前年割れ

- ・上記各地域の状況下、マツダ車の1月の海外販売合計台数は97千台、前年同月比9.6%減少で3ヶ月振りの前年割れ

- ・マツダの1月の輸出動向については、輸出台数は前年比11.5%減少と4ヶ月連続の前年割れ

- ・マツダの1月の国内生産台数は、前年同月比8.3%減少と4ヶ月連続の前年割れ

●輸送用機械器具（造船）

(一社) 中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月から大きな変化はない。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の令和2年1月の船舶建造許可実績は3隻、68,040総トンであった。（前月8隻341,549総トン、前年同月5隻170,200総トン）なお内訳は国内船が1隻で貨物船、輸出船は2隻で全てが貨物船であった。

(卸売業)

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

全体としては、消費税率引き上げの悪影響が長期化している中で、新型コロナウイルスの影響が重なり、景況感は悪化している。新型コロナウイルスの影響がどこまで拡大するのかは現時点では予測不可能である。

「雑貨」においては、日用品の特需はあるものの、その後の反動減も懸念される。先行き見通しに悪化の懸念がある。

「資材」においては、現時点では大きな影響はないものの、住宅建設需要が落ち込む兆しがある。

「食品」においては、イベント中止やインバウンド需要の減少等、全体的な景気低迷から悪化の見通しである。

「繊維」においては、消費税率引き上げ後の売上不振に新型コロナウイルスの影響が重なり、一段と悪化が懸念される。

今後、収益・資金繰りが急速に悪化する企業が出てくる可能性もある。また、中国などからの仕入が出来ないことによる影響も懸念される。

協同組合福山卸センター

新型コロナウイルスの影響が出始めている。

●卸売業（食料）

広島県東部食糧協同組合

得意先の食料品製造業における新型コロナウイルスの影響が懸念される。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

12月の住宅着工より、電設資材仕上げの先々予測は、持ち家は6月頃の仕上げが減少、貸家は9月頃の仕上げが大幅に減少、分譲は12月頃の仕上げが大幅に増加することが予想される。

このたびの新型コロナウイルスの感染拡大で、部品の供給遅延が想定され、納期管理をし、納入遅延がでないよう取り組んでいく。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

消費税率引き上げ及び新型コロナウイルスによる影響により、今後下降傾向が予想される。

キャッシュレス決済の比率が高まり、資金繰りへの影響が一段と強くなっている。

●卸売業（量・敷物）

広島県蘭製品商業協同組合

びんご畳表の相場は横ばいで、販売量は前年比超えて推移している。新型コロナウイルスによる目立った需要の減少は今のところはない。

一方、九州熊本の相場は弱含みのようである。しかし、今後の見通しは不透明である。

中国産畳表は、新型コロナウイルスの影響により輸入が規制され、今後の動向には陰りもある。日本国内における中国産のシェア高く、先行きが懸念される。

日本国内の需給バランスは今の所なんとか保たれているものの、今後には不安が残る。JIS規格の化学表は堅調に推移している。

総じて、国内の情勢が落ち着かないと安定供給にはならないと見ている。一刻も早くコロナウイルスが沈静化し、心の安定が戻ることが消費意欲にも繋がると思われる。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

消費税率引き上げ以来、節約志向は続き、鮮魚・青果とも前年と比べて景況感が悪い中、青果は1月下旬より相場は持ち直し、売上が回復した。

大手スーパーのポイント還元や安売り競争が定着し、記録的な暖冬による冬物商材が売れない状況も重なり、中小の鮮魚青果小売店は収益の回復が見られない。

新型コロナウイルスの感染拡大により、まとめ買いが大型店に集中し、イベント自粛が飲食業界に広がり納品キャンセルなどの影響が出始めている。

協同組合三次ショッピングセンター

1月は積雪による影響がなく、天候が良かったため安定した客数を確保出来た。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比13.2%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比9.9%減少、冷蔵庫同11.6%減少、洗濯機同5.1%減少、IHクッキングヒーター同12.4%減少、電気温水器同14.4%減少、エアコン同19.5%減少となった。

4Kテレビなど売れ筋商品は品薄のため品切れとなり地域店は苦戦している。消費税率引き上げに伴う反動減と新型コロナウイルスの影響で海外からの部品調達が困難であり、今後も品薄の状況は続くと思われる。製造、購買ともに厳しい状況である。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

新型コロナウイルスによる影響は思いのほか大きく、交通量の減少に伴い石油製品の販売量が大きく落ち込んでいる。原油価格の振れ幅が大きく、仕入価格の見通しが難しい状況である。

今年は暖冬の影響で冬用タイヤの需要も極端に少なく、売上高は減少している。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

暖冬による冬物衣料の販売不振が続いている。

新型コロナウイルスの影響により、人手が減少し、売上も大幅に減少している。

呉本通商店街振興組合

商店街空き店舗に数店、移転開店や新規開店を予定している。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比28.8%増加、前年比12.0%減少

車検場収入は、前月比28.8%減少、前年比12.1%減少

重量税・登録印紙の売上は、前月比2.4%増加、前年比9.2%減少

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

例年、年度末に向けて稼働してくるが、今年は大幅な売上減少となった。年度末の受注に期待したい。

●警備業

広島県警備業協同組合

新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、イベントの中止や延期による景況への影響が懸念される。

●情報サービス

（一社）広島県情報産業協会

新型コロナウイルスの影響が確実に出てきている。

製造半導体関連では、中国工場の停止や、部品が入らず一部に影響がでている。

（建設業）

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、2月度は前月比28%増加となったが、前年同月比6.1%増加、前年累計比5.2%減少となった。累計前年比の下げ幅が前月より1.5%程改善されたものの、昨年12月から前年比減少のままである。

例年に比べて、絶対的に新築物件が少ない。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受付件数は、前月比16.3%増加、前年比14.2%増加となった。2月分受付件数は、過去3年と比較しても増加となった。ここ3ヵ月で新築件数が増加傾向となっている。

景気は上向いているのか、工事受注はかなりある。しかし、作業員不足により、やむをえず断るしかない状況もある。電気工事業界への若手作業員の就職率が上向くような施策を希望する。

神辺建設業協同組合

人手不足、人材不足により、先行き不安感が漂っている。

（運輸業）

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

今月の売上及び収益状況は、前月比では大きな変化は見られないが、前年同月比では減少となった。春に向けて季節商品を輸送しているところは前年並みの売上を確保できているが、鉄鋼関連貨物が減少し、売上が伸び悩んでいる。また、2月中旬から関東、関西方面から中国地方への返路貨物が減少しつつある。要因としては、消費税率引き上げ及び新型コロナウイルスの影響ではないかと思われる。韓国への輸出・輸入は昨年からの減少していたため、中国からの輸入減によるものであれば、新型コロナウイルスの影響は十分考えられる。物流にも新型コロナウイルスの影響が出始めているようである。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

新型コロナウイルスの影響による2月の荷動きは、取り扱う商品により大きくばらつきはみられたが、総合的にはまだ大きな減少ではない。

広島輸送ターミナル協同組合

2月は荷動きが悪く、売上は前月比、前年同月比ともに悪化した。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、国内物流も激減している。この先数ヶ月物流量が減少する可能性もあり、収益に大きく影響を及ぼすことが予想される。

水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高年齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。
運賃、用船料の改善が見られない。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比は、年末から一般鑑定の仕事が増加し、売上、収益は好転し、資金繰りも良好である。前年同月比も資金繰り、売上、収益ともに好転している。

市町の固定資産税標準宅地評価作業、路線価評価作業等により、年度末にかけて鑑定士業界は多忙となる。

地価は、依然として上昇基調で推移している。ホテル、マンション建設用地の需要が強い。土木、建築業界は依然として人手不足で、工事の進捗が遅れている。